

1. 科目名 (単位数)	経営組織論 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP3114						
2. 授業担当教員	杉山 章								
4. 授業形態	講義が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッション(学生からの講師への質問、学生間のディスカッション等)を伴ったものにする。	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	「経営学 (非営利組織の経営含む)」を事前に履修していることが望ましい。								
7. 講義概要	<p>企業・学校・病院など、多数の人間から構成される組織を運営するためには、これらの組織を合理的、効率的な「一つの組織」として運営する必要がある。経営組織論は、社会の基礎的構成要素としての組織を対象として、その行動やメカニズムの解明を基礎的課題とした学問領域である。</p> <p>私たちは常に組織との相互作用の中にあり、そして取り巻く組織は常に変化しながら、行動の制約や発展・成長を私たちに与えたり、逆に私たちがより良い組織や機能を提供したりしている。この講義では、この組織の機能に着目して、組織論的課題解決手法を探索する。そして、効率的に運営される組織とは何かという観点から課題を提起し、ディスカッションを通じて課題解決に取り組む。</p> <p>この講義は、科目の性質上、経営管理論や経営戦略論等の関連科目の基礎的知識も必要となる応用科目となるので、これまで学習してきた経営学に関する知識をしっかりと復習しておくことが必要である。また、必要に応じて、適宜解説を加える。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営組織論を構成する理論の概要と具体的事例の内容を理解し、説明することができる。 2. 経営組織を取り巻く経営環境を理解し、その環境への適合方法及び戦略を考察し、立案できるようになる。 3. 経営戦略を実行するのに最適な経営組織のあり方を提起し、戦略的思考を理解し、説明することができる。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	講義で取り上げた学習内容や関連するテーマについて課題を示し検討する。								
10. 教科書・参考書・教材	<p>教材・資料を配布するが、以下を基本的な参考書として授業で使用するので各自準備すること。</p> <p>【参考書】田尾雅夫(編著)『よくわかる組織論』ミネルヴァ書房 2010 年 <更に深く学びたい学生のために> 稲葉裕之 他『キャリアで語る経営組織：個人の論理と組織の論理』有斐閣アルマ 2010 年</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業の経営を実践と理論の両面から、平易な資料を用意して授業を進めたため、組織の基本的仕組みは理解できたか。 2. 企業だけでなく学校、病院などの多くの人間から構成組織を運営するための、社会で要求される組織経営の基礎的な考え方を身に付け、留学生にとっても日本と母国を含めたグローバルな視点で組織のあり方を考えるような力が付いたか。 3. 企業の経営組織の理解だけでなく、病院や公共施設などの組織及び組織運営の違いを理解できるようになったか。 <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、課題レポート、期末試験等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 課題レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3 期末試験</td> <td>総合点の40%</td> </tr> </table>			1 授業への積極的参加	総合点の30%	2 課題レポート	総合点の30%	3 期末試験	総合点の40%
1 授業への積極的参加	総合点の30%								
2 課題レポート	総合点の30%								
3 期末試験	総合点の40%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>グローバル経済の発達と社会環境の変化に伴い、人々や企業は様々な適応を続けています。私たちの暮らしもまた時代と共にさまざまな変化を続けてゆくことでしょう。複雑に見える社会の動きをシンプルに理解し、さらに、何がどうなれば良いのか、を考える力は問題解決力として、就職活動だけでなく、将来の社会人(ビジネスパーソン)として社会を担ってゆく時に役立つ資質の1つです。Video 教材も取り入れたアクティブな授業を展開します。皆さんの積極的な参加を期待しています。共に楽しく学んで行きましょう。</p> <p><教員メールアドレス> aksugiya@ed.tokyo-fukushi.ac.jp</p>								
13. オフィスアワー	授業内(初回授業)で周知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	授業ガイダンス：経営組織論とは何か？	事前学習	本授業専用のノートを準備すること。						
		事後学習	参考書の‘はじめに’を読み返し整理しておくこと。						
第2回	組織とは？	事前学習	参考書 p2~17 を読んでおくこと。						
		事後学習	組織論の全体イメージについて要点を整理し、まとめておくこと。						
第3回	組織のダイナミクス	事前学習	参考書 p3~33 を読んでおくこと。						
		事後学習	組織の環境適応などに関わる課題を整理し、まとめておくこと。						
第4回	グループ・ダイナミクス	事前学習	参考書 p86~97 を読んでおくこと。						
		事後学習	グループ・ダイナミクスの課題を整理し、まとめておくこと。						

第5回	リーダーシップとは何か？ および前半課題レポートの事前説明	事前学習	参考書 p98～113 を読んでおくこと。
		事後学習	リーダーシップに関わる課題を整理し、まとめておくこと。 前半課題レポートの準備を始めること。
第6回	意思決定	事前学習	参考書 p114～125 を読んでおくこと。
		事後学習	意思決定に関わる課題を整理し、まとめておくこと。
第7回	組織デザイン	事前学習	参考書 p128～149 を読んでおくこと。
		事後学習	組織デザインに関わる課題を整理し、まとめておくこと。
第8回	組織文化 および前半課題レポートの振り返り	事前学習	参考書 p150～163 を読んでおくこと。
		事後学習	組織文化に関わる課題を整理し、まとめておくこと。
第9回	組織戦略	事前学習	参考書 p164～181 を読んでおくこと。
		事後学習	組織戦略の要点と課題を整理し、まとめておくこと。
第10回	組織マネジメントと危機管理	事前学習	参考書 p184～193 を読んでおくこと。
		事後学習	危機管理に関わる課題を整理し、まとめておくこと。
第11回	個人と組織：モチベーションとストレス	事前学習	参考書 p36～53,68～83 を読んでおくこと。
		事後学習	モチベーションに関わる課題を整理し、まとめておくこと。
第12回	個人と組織：キャリアデザイン	事前学習	参考書 p54～67 を読んでおくこと。
		事後学習	キャリアデザインに関わる課題を整理し、まとめておくこと。
第13回	個人と組織：人的資源管理	事前学習	参考書 p194～209 を読んでおくこと。
		事後学習	人的資源管理について課題を整理し、まとめておくこと。
第14回	組織の変革と今日的な課題	事前学習	参考書 p210～225 を読んでおくこと。
		事後学習	組織の変革に関わる要点と課題を整理し、まとめておくこと。
第15回	講義全体のまとめ、期末試験の事前説明	事前学習	講義全体の要点を自分なりに整理すること。
		事後学習	期末試験の準備を進めること。